



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.47

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2022年3月31日発行

【本号のトピックス】

33回大会参加登録受付中！／委員会だより(倫理審査・特任(病院歯科))
オンライン研修会・歯科衛生士セミナー・歯科衛生士交流会・臨床研修会報告
学会だより(令和3年度日本歯科医学会会長賞・第50回医療功労賞受賞報告)

第33回学術大会「噛んで・味わって・語り合おう老年歯科in 新潟」は 参加登録受付中です！

#JSG22

大会長 小野高裕
(新潟大学包括歯科補綴学分野)

第33回学術大会(6月10~12日)まであと2カ月ほどとなりました。会員の皆様はもう参加登録を済ませられたでしょうか?このNews Letterをご覧になるまで、「久しぶりに学会参加したいけど、まだコロナがなあ…」と心配されている向きもあろうかと存じます。ご心配ありません!33回大会は、あくまで基本は現地開催ですが、①会場で講演やシンポジウム、セミナーに参加するだけでなく、オンラインで口演発表やポスターを視聴できる、②たとえ新潟に来られなくても同様のコンテンツがオンラインで視聴できる、③終了後も講演、シンポジウム、口演発表をオンデマンドで視聴可能という、【現地開催】【ライブ配信】【オンデマンド配信】を組み合わせた「スーパーハイブリッド方式」を採用することになりました。ですので、どうか安心して参加登録していただき、新潟への旅程を立てていただきたいと存じます。

本学術大会は、特別講演2本、シンポジウム13本、ランチオンセミナー7本、スイーツセミナー1本などの企画の他に、口演ならびにポスターによる研究発表が約160題、摂食機能療法専門歯科医師関連ポスター発表と認定医関連ポスター発表が合わせて約60題と、おかげさまで非常に盛りだくさんの内容となりました。学会誌36巻4号には、各企画の趣旨と、参加するとどのようなよいことがあるかが紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

6月の新潟は雨も少なく、爽やかです。会場の「リゅーとびあ」は白山公園と信濃川のやすらぎ堤という新潟の都市美を代表するエリアに位置しており、少し歩くと江戸時代から変わらぬ路地の街並みに美味しいお店がいっぱいあります。できれば皆様に、現地で老年歯科の最新

像を噛んで味わって語り合っただけますように!

会期は以下のとおりです。詳細は、学会誌36巻4号掲載の日程表をご覧ください。

【現地開催】2022年6月10日(金)~12日(日)

【ライブ配信】2022年6月11日(土)、12日(日)

【オンデマンド配信】2022年6月17日(金)~7月4日(月)



大会 HP



大会 Facebook

委員会だより

倫理審査委員会

委員長 糸田昌隆

日本老年歯科医学会倫理審査委員会は、ヘルシンキ宣言に基づき「ヒトを対象とした医学研究」について倫理審査を行うことを主な業務とし、2017年度より倫理審査を行っています。研究者は研究を始める際に、研究倫理に関する研修を受け、研究内容について審査・承認を受け、研究を開始する必要があります。審査対象とする研究は、本会会員である主たる研究者の所属組織に、倫理審査委員会がない場合を対象としています。倫理審査のポイントは1. 研究対象者の人権の尊重、人格の尊厳などについて倫理原則が守られているか、2. 個人情報を守られているか、3. 研究が科学的原則に基づいて行われるかなどの点について審査を行います。倫理審査を行う際に提出いただく書類には、これら1～3のポイントについて厳密に記載いただく必要があります。また委員会のその他の活動として、倫理審査への問い合わせに対する対応、本会学術大会発表者の抄録の確認などを行っています。実際には年間数件の倫理審査を行っています。倫理審査関連の相談・問い合わせは年々増加しており、これは会員の皆様の活動がますます活発になり、本会と老年歯科医学の発展に寄与するものと考えています。倫理審査に関するお問い合わせは本会事務局を通じて委員会にお寄せください。倫理審査の詳細に関してはホームページでも閲覧いただけます。ぜひご活用ください。

特任委員会（病院歯科）

委員長 大野友久

本委員会の目的は、高齢者歯科を実践する病院歯科、すなわち高齢者対応型病院歯科の普及・発展になります。

医科疾患で入院している患者の多くが高齢者であり、対応には摂食嚥下リハビリテーションや有病者歯科、周術期口腔機能管理、多職種連携や地域医療連携、社会制度など、高齢者歯科学の知識が幅広く必要とされます。高齢社会が進展していくなかで、高齢者対応型病院歯科の必要度は増していくでしょう。

しかし、残念ながら高齢者対応型病院歯科の数は多くありません。また、国民だけでなく、歯科医療従事者においても認知度は低い状況です。2040年頃の高齢社会のピークを見据えて、高齢者の口腔管理における責任学会である本学会が、率先して高齢者対応型病院歯科を普及すべきと考えます。

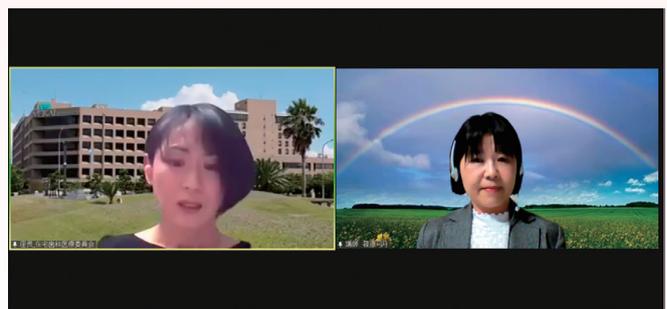
その普及・発展には実態調査や介入効果の検証などエビデンスの構築が必要ですが、これまでそれを主導する組織がありませんでした。そこで2020年6月より本学会内に特任委員会（病院歯科）を設立しました。いくつかの調査をすでに実施させていただいておりますが、今後もさらなる活動を続けていきますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

在宅歯科医療委員会企画 オンラインLive研修会開催報告

在宅歯科医療委員会
委員 金久弥生

標記研修会が研修委員会主幹で、2022年1月21日（金）20時から行われました。講師には、口腔栄養サポートチームレインボー代表の篠原弓月先生をお招きし、「コロナ禍における在宅訪問の実践的対策」をテーマにご講演いただきました。訪問活動を実践してこられたご経験をもとに、コロナ禍前後における在宅歯科医療および口腔健康管理、介護サービス利用の状況や安全で効率的な感染対策の実践についてもご教授いただきました。活発な質問もあり、現場での他職種との対応の違いに対するご苦労も伝わってくる内容でした。本研修会には255名の方が参加くださり、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、在宅医療のあり方が問われている今、学会員の今回のテーマに対する関心の

高さがうかがえました。篠原先生、開催にご協力くださった方々、および参加いただいた皆様へ、座長として厚くお礼申し上げます。



座長と講師の篠原先生（右）

オンライン歯科衛生士セミナー開催報告

歯科衛生士関連委員会 委員長 石黒幸枝

2022年2月27日(日), 第10回歯科衛生士関連委員会主催セミナーをオンラインにて開催しました。今回のセミナーでは, 講師に日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック管理栄養士の尾関麻衣子先生をお招きし, 「歯科衛生士が行う高齢者への食事指導のことはじめ」と題してご講演をいただきました。当日は, 計245名のご参加があり, 盛況のうちに終了いたしました。

特に高齢期では, 効率よく栄養補給できる食事の提案が重要であり, 栄養に関する基礎知識に加えて, 歯科臨床でも応用できる栄養評価方法や栄養指導の実践についてわかりやすく解説をいただきました。歯科衛生士が, 高齢者

に対して口腔健康管理を行ううえで, 食・栄養の視点をもつことの重要性を認識するセミナーとなりました。



講師の尾関先生

オンライン歯科衛生士交流会開催報告

歯科衛生士関連委員会 委員 草間里織, 藤原ゆみ

2022年2月27日(日), 歯科衛生士関連委員会主催のオンライン歯科衛生士交流会を開催しました。初の試みとなるオンラインでの交流会は, 事前申し込みのあった28名の参加者が3つのブレイクアウトルームに分かれ, 各ルームの進行役とともに活発な意見交換が繰り広げられました。はじめはお互い緊張した表情も徐々に笑顔が溢れ, 画面上ではありますが全員が一体となった空気感がありました。地域や立場の違いを乗り越えての交流は, 参加者の経験値をアップデートできるような有意義な時間となったように思われます。約60分間という短い時間でしたが, 終了するのが名残惜しいとの嬉しい言葉もあり, 新たな出会いのきっかけとなる貴重な機会となったのではないかと

と思います。今後もさまざまな形式の交流会企画を考えてまいりますので奮ってご参加ください。



参加者の皆様
ありがとうございました

第11回高齢者医療臨床研修会開催報告

研修委員会委員長 竹島 浩, 同委員・幹事 田村暢章

2021年度の研修委員会企画のLive研修会が2022年3月18日(金)20:00~21:00に開催されました。今回は東京医科歯科大学大学院歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野教授前田 茂先生をお招きし, 司会・岩佐康行先生, 座長・竹島浩先生のもと「有病高齢者の緊急時の対応」と題し, 実際の症例を交えながらご講演いただきました(参加者数390名)。有病高齢者に対して, 基礎疾患(高血圧症, 糖尿病, 喘息, 慢性腎臓病など)のみるべきポイントや急変時の対応などについて, 私たちの明日からの臨床に直接役立つ内容を丁寧に解説いただき, 有意義な研修会となりました。特に問診の要点やモニタリングについてたいへんわかりやすくご説明いただきました。

2021年度高齢者医療臨床研修会計6回の開催は終了しました。本年度も新型コロナウイルスの猛威が継続してお

り, すべてオンラインLive方式となりましたが, 来年度以降には対面での研修会も織り交ぜて開催できることを祈念しております。今後も会員の皆様にとって実りある研修会の開催を学会全体で盛り立てていきたいと考えておりますので, よろしく願いいたします。



講師の前田先生

学会だより

令和3年度日本歯科医学会会長賞(研究部門)を 米山武義理事が受賞されました！

米山武義理事が、歯科医学・医術の研究に成果を収め、歯科医学・医療の向上に特に顕著な貢献があったと認められる者を顕彰する「令和3年度日本歯科医学会会長賞」を受賞し、令和4年2月18日、日本歯科医学会よりプラーク（表彰楯）とメダルを贈られました。

また、授賞式では受賞者を代表してスピーチをされました。おめでとうございます。



授賞式の一場面

第50回医療功労賞を本会会員 が受賞されました！

地域医療に長年貢献してきた人を顕彰する「第50回医療功労賞」（読売新聞社主催）に、本会会員・杉山総子様（米山歯科クリニック歯科衛生士、静岡県）が選ばれました。おめでとうございます。



2022年(令和4年)1月18日(火曜日) 宣言

医療功労賞に2氏

地域医療に長年貢献してきた人を顕彰する「第50回医療功労賞」（読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、損保ジャパン、アインホールディングス協賛）に、県内からは、米山歯科クリニック（長泉町）の歯科衛生士、杉山総子さん（76）が選ばれた。

は、口の中を清潔に保つ「口腔ケア」の普及に尽力し、いずれも高く評価された。

米山歯科クリニック
歯科衛生士
杉山 総子 さん 76

口腔ケア普及に努める

「口腔ケア」という言葉がなかった30年ほど前から、歯科衛生士として普及に努めてきた。受賞の知らせは「たたくさんの口、口腔ケアの大切さを知って、もうさっさとかけなければならぬ」と感じた。虫歯や歯周病、誤嚥性肺炎といった病気の予防に役立つ。口腔ケアは、口の中を清潔に保つことだけでなく、食べたり話したりする口の機能を保つことも重要な点だ。虫歯や歯周病、誤嚥性肺炎といった病気の予防に役立つ。

に加え、食事や会話を通じたQOL（生活の質）向上に役立つ。

現在では口腔ケアの重要性について理解が進んできたが、かつては施設や家庭でちゃんと介護が行われていても、口内のケアは一般的ではなかった。

小さなスポンジがついたブラシで歯や口内の汚れを取り、口や咽の動きを見る。特に介護を受けている高齢者は、のみ込んだり、表情を作ったりすることが難しくなる。一緒に歯磨きを歌いながら根気よくリハビリを続けると、だんだんと表情が豊かになってくる。「口腔ケアは、人が人らしく生きていくことにつながっている」と実感している。

医療や介護、福祉に関わる人たちが作る「口腔ケアネットワーク（三島）」の設立に関わり、様々な人たちと技術や心構えを伝えてきた。今でも高齢者施設などの訪問を続けており、「生涯現役でいたい」と意気込んでいる。

(2022年1月18日付 読売新聞より)

支部セミナーのご案内

北海道支部主催セミナー
「第21回北海道口腔ケアセミナー」のご案内

日時：2022年5月28日（土）14:00～16:30（予定）
Web配信（Zoomによる配信）
主催：北海道支部、北海道口腔ケア研究会

編集後記

第33回学術大会は【現地開催】【ライブ配信】【オンデマンド配信】による「スーパーハイブリッド方式」で開催されます。コロナ禍をきっかけに学会開催方式が多様な進化を遂げていることにただただ驚くばかりです。多くの皆様の参加をお待ちしております。
(伊藤誠康)

発行人 水口俊介
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp